

# 04 Base Scenario

## ほぼ確実に やってくる 未来を考える。



国・自治体、シンクタンクや大学等研究機関が公表している、様々な統計資料や、各専門家による討議を整理すると、「ほぼ確実にやってくるだろう」という不確実性の低い将来の姿が浮かび上がってきます。

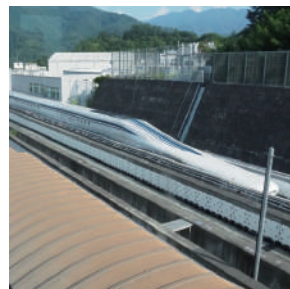
私たちはまず、日本における不確実性の低い将来像の仮説を、ベースシナリオ「日本マクロトレンド」としてまとめ、このベースシナリオをもとにして、町田市ならではの課題や調査結果を加味し、町田市における不確実性の低い将来像の仮説、「町田市ベースシナリオ」としてまとめました。

### 7つの 日本マクロ トレンド

超高齢化社会



スーパー・  
メガリージョンの形成



自動運転・AIなどの  
各種新技術の進展



社会分断の  
さらなる進展



インフラの老朽化

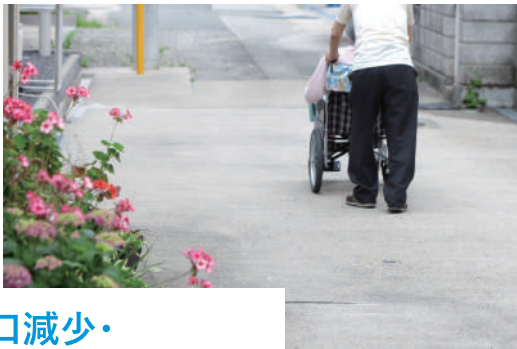


災害・パンデミックの  
危機



長期的低成長と  
雇用の不安定化





## 人口減少・ 高齢社会における 新たな社会像と公共の登場

町田市の高齢層比率は 2020年の 27%から 2050年には 40%まで増加、行政から民間へ委託が一層進むなど新たな公共の形が定着



## デジタルと 空間・社会経済 システムの一体化

シームレスな ITのインフラが準備され、効率性、生産性が向上し様々なデータに基づく最適なマネジメントが実用可能に



## DXの浸透による 個人重視型 ライフスタイルの定着

在宅勤務等によって都心地域の優位性が低下し、生活の質がより重視され、シェアリングエコノミーがさらに進展する



## 労働市場の 二極化と 社会分断の顕在化

企業や法人は終身雇用を減らし価値観の多様化によって様々な副業・働き方が進み、地理的な社会階層の分断が進む



## 公共サービス (教育・医療・福祉) の激変と、社会保障の負担増

教育改革が進むと同時に、高齢化による医療費の個人負担の高騰や、生活保護をはじめとする社会福祉の負担が大幅に増大



## 住宅・インフラの 維持コスト増大と 地域コミュニティの危機

住宅の更新がされず、既存の空き家が放置され、高齢人口が増えることにより地域コミュニティが形骸化